

那賀川水系大規模氾濫減災協議会 平成30年10月 取組状況

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

(1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項

- ⑦地域の寄り合い、各種団体の研修会、小中学校等における水防災意識社会再構築ビジョンに関する教育・訓練を実施 【四国地整】

那賀川河川事務所では、平成30年10月27日(土)に、徳島県立那賀高等学校から依頼を受け、防災クラブの生徒を対象に出前講座を実施しました。

今回の講座内容では、前半は高校において那賀川の水害等に関する座学、後半は那賀川に出向いて簡易水質調査やドローン操作体験、高水流量観測の実習を行いました。

高水流観の実習では、実際に橋の上から浮子(ふし)を投下し、第1見通し杭と第2見通し杭を通過する時間を計測し、川の流速及び流量の算定手順を学んでもらいました。現場に出て体験してもらうことにより、防災をより身近に感じてもらえたと思います。

今後も、高校などの関係機関と連携を図りながら、防災教育に関する支援を続けていきたいと思っています。



写真-1 高水流観での浮子投下



写真-2 現地での水質調査(パケットテスト)



写真-3 雨量計の構造説明



写真-4 ドローンの説明